

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐南工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月12日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- |     |         |             |
|-----|---------|-------------|
| 会長  | 山口 禎一郎  | 山口鋼業株式会社    |
| 副会長 | 後藤 潤一   | 同窓会長        |
| 委員  | 青山 訓子   | 岐阜県美術館 (欠席) |
|     | 透 千保    | アナウンサー (欠席) |
|     | 坂口 圭一郎  | PTA会長       |
| 学校側 | 佐藤 尚史   | 学校長         |
|     | 宇佐美 理恵子 | 事務部長        |
|     | 大西 護    | 教頭          |
|     | 阿部 光明   | 教頭          |
|     | 福永 繁隆   | 教務主任        |
|     | 山田 秀樹   | 生徒指導主事      |
|     | 村瀬 太康   | 進路指導主事      |
|     | 加藤 勝彦   | 総務部長        |
|     | 稲葉 尚人   | 工業部長        |

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 授業参観・校内見学について

実習棟において、電子工学科の工業技術基礎、機械工学科及び、電気工学科の実習、建築工学科の課題研究の授業を参観

意見1：機械工学科ではシーケンス制御等の専門以外の実習内容もあり、教科横断的な授業が展開されており、非常によい。

意見2：建築や土木の分野に関してもICT活用が進んでいるため、学科間の連携によって学習ができるようになるとうい。

⇒ 部活動での活動ではあるが、今年度からどの学科の生徒でも好きな研究会に入部できるように変更し、他学科での学びを可能としている。

意見3：他学科の生徒が専門外の研究会に入部し、当該学科が主に受験する資格を取得することは可能か。

⇒ 研究会に関係なく、希望者がいれば、学科間で連携して資格取得に向けた補習等を行っている。現状においても、自動車工学科の生徒が昼休みに第二種電気工事の補習を受けている。

意見4：建築工学科の課題研究で、左官のマイスターの方が講師となって教えていたが、このような取組は建築工学科以外でも実施しているのか。

⇒ 建築工学科に限らず、どの学科においても外部人材を活用しながら授業を実施しており、専門的な知識の定着に繋がっている。

## (2) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- ・ 校長より教育指導の重点及び学校経営計画とスクール・ミッションについて説明
- ・ 各分掌長より令和6年度の方針と重点について説明

意見1：スクール・ミッションは現状をスタートラインとせず、理想をスタートとして考えると見えてくるものもある。

意見2：学校が何処までを目指すかによってカリキュラムの組み方が変わってくる。専門家を育てるには物理的に時間が足りないため、「専門家になりたい」というきっかけ作りに特化したカリキュラムにしていくと、学校の独自性がでるのではないか。

⇒ 今年度からカリキュラムに落とし込むことは難しいが、生徒に“ワクワク感”などをもたせるために、どのような対応ができるか検討する。

意見3：コミュニケーションの苦手な生徒が多くなってきているため、授業の中で生徒同士が意見交換できるような対話的な活動の時間が取れるとよい。

意見4：中学校への出前授業も実施していることから、今後はその発信方法を工夫できるとよい。

意見5：小学生や中学生、地域住民へのPR活動を積極的に実施し、中学校への説明会においても、生徒が製作した模型や作品を紹介できるとよい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。委員の意見を参考に今後の学校運営に役立てていきたい。

第2回学校運営協議会では、学校行事を通して生徒の活動の様子を見ていただき、本校への理解をより深めていただくとともに、スクール・ミッションを確定する予定である。